

経済産業大臣

齋藤 健 様

デザイン経営普及に向けた要望書

令和6年5月20日

一般社団法人 ブランディングデザイン協会

代表理事 長尾 徹

理事 金子 保夫

理事 井手 美由樹

[デザイン経営普及についての背景および要望の趣旨]

一般社団法人ブランディングデザイン協会は、教育者、企業経営者、中小企業経営支援者が集まり、志を同じくして、デザイン経営の啓発活動、デザイン教育活動を行っています。

VUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代、アフターコロナで顕在化した価値観の変容が浮き彫りになる中、私たちは中小企業の生存戦略として「デザイン経営」の導入が不可欠であると考えています。

デザイン経営は単に見た目のデザインを美しく整えることではなく、革新的なアイデアを生み出し、市場と消費者のニーズに敏速に対応する手法です。ゼロから価値を創造する「デザイン思考」を事業戦略の中心に据えます。デザイン経営の導入により、ブランディングと豊かな顧客体験を実現し、企業価値を向上させることが可能です。

中小企業を取り巻く環境は激変しています。そして、中小企業の経営者はこれまでのノウハウだけでは企業の存続が難しいことに気が付き始めています。特に、DX と GX を意識した持続可能なビジネスモデルへの移行は、今後の企業存続において重要な要素です。デザイン経営を通じて、デジタル社会や環境に配慮した製品やサービスの開発を促進し、新たな顧客層を開拓することが期待されています。

このような背景から、中小企業がデザイン経営を取り入れやすい環境を整備する支援を強化していただきたいと考えております。具体的には以下の3点をお願い申し上げます。

- 1) デザイン経営の有効性、重要性の周知
- 2) 経済団体（商工会議所、商工会など）と連携した中小企業への支援策の強化
- 3) 中小企業診断士によるデザイン経営導入支援の推進

1) デザイン経営の有効性および重要性の周知

・デザイン経営と中小企業

デザイン経営は、中小企業の持続可能な成長と競争力強化に不可欠な戦略です。このアプローチは、企業のビジョン、戦略、プロセスをデザイン思考に根ざして統合します。これにより、市場の変化や消費者のニーズに迅速かつ効果的に対応することが可能になります。

・デザイン経営導入の効果

創造性とイノベーションの促進を支援し、企業が新しい市場機会を発見し、顧客との関係を深めるための手段となります。また、デザイン経営は、企業のブランド価値を高め、差別化を図る重要な要素です。消費者が製品やサービスを選択する際、デザインが大きな影響を与える現代において、強力なブランドとして認識されることは業績向上に直接的な効果をもたらします。

・デザイン経営の啓発

2018年の特許庁による「デザイン経営宣言」以降、デザイン経営の重要性は周知されつつあります。事業の再構築を模索している多くの中小企業経営者の方々に、デザイン経営の重要性やその効果を知っていただきたいです。

2) 経済団体（商工会議所、商工会など）と連携した中小企業支援策の強化

・商工会や商工会議所、その他の経済団体の役割

商工会などの経済団体に、中小企業に対してデザイン経営の重要性を啓発し、導入を支援する中核的な役割を担っていただきたいです。また、これらの団体自体にもデザイン経営の効果を実感し、デザインを戦略的なリソースとして活用していただくことで、中小企業にも波及すると思われれます。

・実施策

具体的には、セミナーやワークショップを開催することでデザイン思考やデザイン経営の基本を周知していただけることを期待します。また、成功事例の共有やデザインの専門家を紹介することで、具体的なアドバイスを提供できるのではないかと考えます。

さらに、地域内外のネットワーキングイベントを通じて、企業とデザインの専門家の協力と知識の交流が促進されます。これらの取組により、異業種間での新しいアイデアやインスピレーションが生まれ、デザインを活用した革新的なソリューションが開発されるきっかけを作り出します。

3) 中小企業診断士によるデザイン経営導入支援

・中小企業診断士の役割

中小企業支援の最前線で活動する中小企業診断士は、デザイン経営の啓発および普及において重要な役割を果たします。診断士は専門的知識と実務経験を活かし、中小企業に対してデザイン経営の理念と具体的な実践方法を提供することが期待されます。

しかしながら、現状ではすべての中小企業診断士がデザイン経営の効果を理解しているわけではありません。まずは中小企業診断士自身がデザイン経営についての知見を身に付ける必要があります。

・中小企業診断士による啓発活動

デザイン経営の知見を得た中小企業診断士は、企業経営者やスタッフに対しデザイン経営の概念を啓発し、デザイン思考がいかにして企業のイノベーションと顧客満足度向上に寄与するかを周知します。デザイン経営を事業戦略の一部として組み込むことの価値を伝えることで、企業がこれを経営に積極的に取り入れるきっかけを作ります。

・デザイン経営の知見を診断士の必須スキルに

中小企業診断士は5年ごとに資格の更新を行います。更新の要件として、専門知識の蓄積と実務経験が求められています。今後、中小企業診断士の更新研修のテーマとしてデザイン経営が取り入れられれば、中小企業診断士の支援活動を通じて、より多くの経営者の方々に周知できると思われれます。